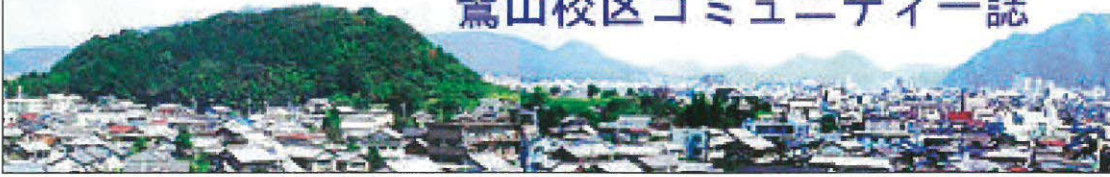


# ふれあい鷺山

## 鷺山校区コミュニティー誌



第14号

2007年11月25日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

本誌は自治会加入世帯全戸へ配布しております

# 元気な鷺山の森に

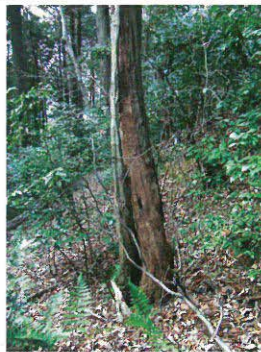
## 鷺山小PTAが親子で手入れ

鷺山のシンボルである「鷺山の森」、この森が今、いろいろな問題に直面しています。

その一つがカシノナガキクイムシという害虫によるドングリの木の枯死です。この枯死は、近年金華山でも問題になっていますが、鷺山でも同じ症状で木が枯れています。また、スギ林やヒノキ林にも竹が侵入して、いずれスギやヒノキが

枯れる可能性が出てきています。その他にも、枯死木の放置による倒木の危険やゴミの不法投棄も見られます。

今の鷺山の森は決して元気ではありません。



枯死木の放置

そこで、鷺山小学校PTAが中心になって、この秋から鷺山の森の整備活動に取り組みます。

昔、鷺山の木々を新として使っていた頃のように、適宜樹木の伐採を行いながら、元気な鷺山の森にしていきます。親子一緒に頑張って鷺山の森を元気にしてもらいたいと思います。また、校区全体でこの鷺山の森の整備活動を盛り上げていきたいと願っています。



スギ林に侵入する竹

### 親子で守る、地域みんなで育てる鷺山の森

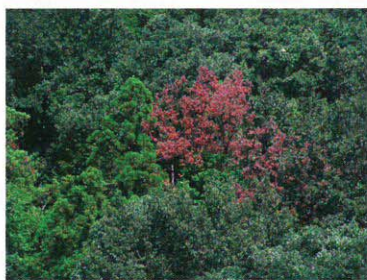
#### 【目的】

- 1 鷺山の森を守り育て、憩いの場に
- 2 子ども達に自然の中で遊ぶ楽しさを
- 3 活動を通して、まちづくりの連携

(岐阜市の市民活動支援事業)

#### 【活動概要】

- 1 密集した雑木林の整備伐採
- 2 病虫害枯死木の伐採
- 3 過密集竹林の間伐
- 4 ゴミ、枯倒木等の処理
- 5 鷺山の恵みを活用した体験学習



カシノナガキクイムシによる枯死



鷺山の森は雑木や竹が生い茂り藪になっている

鷺山の森の所有者の方には整備についてご了解を頂いています。

自治会連合会 関連行事

● 12月26～30日

年末夜警 北消防団鷺山分団

● 20年1月13日(日)10時～

新成人を祝い励ます会

長良川国際会議場大会議場 (昭62・4・2～63・4・生まれ)

● 毎月第4木曜日 9時半～

健康相談 鷺山公民館



追って地域の皆さんにもお手伝い頂きたいと思っております。その節は、よろしくお願ひします。  
(PTA会長平田 亨 NPO 森と水辺の技術研究所理事、環境省 環境カウンセラー)



地域のみんなで子どもを見守ろう

### 放水演習や備蓄品の紹介も

#### 校区防災訓練に二三〇〇人

9月2日鷺山校区自主防災訓練が行われました。

今年で発災型防災訓練導入3年目になり、各地区(地域)では、午前7時からそれぞれ各地区の特性に合わせた訓練が行われました。

各地区の状況は今年設置した小型無線機を通じ本部が受信し、把握することが出来ました。

本部(小学校々庭)では、池田公園、正木の各市民消防隊による放水演習ははじめ北消防署によりエアートンツの紹介、小学校に保管してある備蓄品(クラッカー、



正木市民消防隊の放水演習



北消防署員によるAED訓練

五目ご飯、山菜おこわ、毛布、簡易トイレ等)の紹介があり、参加者の注目を引き、特に最新のAEDの講習はてきぱきとした行動に感動を与えました。

訓練は北消防署・同鷺山分団・水防団・女性防火クラブ・日赤奉仕団・鷺山小学校と地元の方々の協力により無事終了しました。

校区全体の参加人員は、総勢2,341名(昨年2,321名)でした。尚、AED装置は小学校体育館に新しく設置されています。(T.K)

### 校区敬老会・金婚祝い

#### 長寿76歳以上が1138人



9月17日敬老の日、鷺山小学校体育館で校区敬老会が行われました。

76歳以上の対象者1138名の内461名が出席。開式後、46組の方に金婚祝いが贈られました。

式典後、民謡クラブの踊り、南正木の山田三郎さんのトークショー、山田さんは青年時代、第2回朝日マラソン(現 福岡国際マラソ

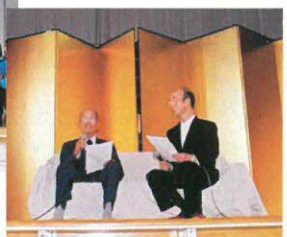
ン)と第4回毎日マラソン(現びわ湖毎日マラソン)に優勝されました。(本誌2号で紹介しました)

さらに恒例の自治会長有志のコーラス、大垣女子短大のバンド演奏でお祝いました。

最後にお楽しみ抽選会があり、今年も暑い中、氷柱やお茶が用意され、無事終了しました。(桑原重雄)

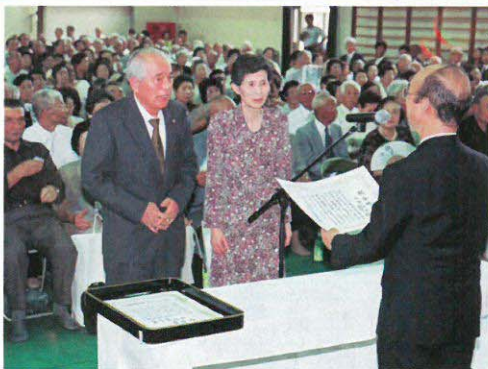


85歳で現役の山田三郎さん



大垣女子短大バンドで唄う自治会長有志コーラス

### 金婚祝いを 受けられた方々



- 服部 清・導子 森崎良一・孝子 谷下 瑛・慧子 森瀬重明・静子 神原甚造 和子 高賀善治・路子 梶原一郎・晴美 加納宏幸・陽子 熊澤恭一・京子 岩佐 清・美年子 成瀬 幸夫・てる子 坂 脩・美雪 服部数一・明子 栗本勝二・暎子 佐藤迪康・好子 澤田良二・きみ子 田中義明・マサコ 小林弘光・磨知子 長屋光一・吉子 宮部英雄・定子 石田 良雄・さよ子 見須武彦・由巳子 山田太一・道子 岡田 薫・春子 亀山直介・浩子 山田眞己・米子 市橋常俊・定子 野村 清・浩子 上松正治・安子 河合十市・たづ江 塚原 釘市・操 土田正和・薫 松下 清 君子 安藤富男・進美子 安田孝之・継子 武藤勇三・和子 江崎 勇・美智子 青木 勇・しづ子 臼井真澄・節子 下地 弘・るり子 大野 武・嘉子 安田昭平・富美 土田 昭・はつ子 井深 勲・多寿子 中嶋一郎・さきえ 山田 博・茂代(敬称略・順不同)



みんなであつくる安心・安全・活力あふれるまち さぎや

# 地区対抗”綱引き”で盛り上がる 若人参加の運動会へ工夫

10月7日(日)鷺山小学校グラウンドで「第47回鷺山校区市民大運動会」が行われました。曇天ながら絶好のコンディションで校区の皆さんが楽しみました。



今年はプログラムを見直し、時代にマッチした種目として「防災バケツリレー」や「安全運転競技」を取り入れ、「地区対抗綱引き」が復活し大いに盛り上がりました。子どもからお年寄りまで三世代交流の場とし

ての運動会ですが、地区によつては10〜30代の参加が少なく、中高生や若い人達が積極的に参加できるように



な工夫も課題です。(SK)



# 今年も遊んだ楽しんだ 子どもフェスティバル

鷺山校区子どもフェスティバルが、子ども会育成会主催で11月3日(祝)小学校グラウンドと体育館で行われました。お世話係のインリーダーを中心に、遊びを通して子ども同士の交流を目指したもので、30の子ども会から500人余の子ども達と保護者が参加。老人

クラブ、PTA親父の会、青少年育成市民会議等の協力を得て、いろんな遊びが実施され、子ども達は思いつき遊び、楽しそうな笑顔があふれていました。また、北消防署の協力により煙体験コーナーも設置されました。(佐藤富昭)



午後からステージで各クラブの発表があり出演者はそれぞれに満足された様子。又、文化祭に協賛してJAが新鮮な野菜の即売、グラウンドゴルフ、お茶席等が催されました。(YT)

11月4日(日)恒例の文化祭が開催されました。体育館展示場には、小学校、中学校の作品並びに公民館クラブ、一般の方々の力作が展示され、一方舞台では夏祭りのビデオのほか市民大運動会のビデオも上映され



力作ぞろいの作品展示



### ヒヤリハットとバリアフリー事業

鷺山くらしの安全推進委員会では、4月から「ヒヤリハットとバリアフリー対策事業」を進め、校区内で防犯、防災、交通安全上問題のあるところ112カ所を拾い出し、去る8月2日、市や警察と現地調査を実施し、9月20日その対応策の中間報告を市役所で受けました。

現在すでに10数カ所は対策が実施されました。出来るところから改修されていきますが、予算を伴うものは時間がかかるようです。また、一方通行など交通規制を伴う11カ所については地元住民、地権者の承諾、合意が必要ですので、皆さんのご理解、「ご協力を得て、該当自治会等で検討頂きたい」と思います。

中間報告では不十分な対応(例、県道正木・ドコモ前横断歩道の新設、通学路のカラー舗装、正木地下道の安心化・・・)については、再度市、警察等と協議、要

請し実効対策が得られるよう折衝してまいります。

- 改修等が行われた主な地点
- ①小学校からの南の通学路の水溜りを補修
- ②北野神社脇坂路の段差解消
- ③二本松公園の段差解消
- ④草平庵前道路等の崩壊改修
- ⑤池田公園東側水路柵補修
- ⑥青山中学南の新道に横断歩道を新設
- ⑦その他 2・3カ所 カーブミラー改修、設置

- 地元の合意、承諾が必要な主な地点
- ①鷺山4丁目・焼肉木曾さんから南入を朝間禁止にする
- ②千草町正木川兩岸道路を一方通行にする
- ③緑ヶ丘バス停付近の横断歩道を東へ移設
- ④本通り歩道橋下の自転車横断道を西へ移設
- ⑤玉川町バス停付近の横断歩道を東へ移設
- ⑥本通り中津信号を東への移設
- ⑦簡易保険西側道路への南入を朝間禁止する
- ⑧本通りから清洲町公民館前道路への南入を朝間禁止にする
- ⑨正木2丁目付近の横断歩道を東(元交番前)へ移設等(SK)



緑ヶ丘 ヒヤリハットと現地調査 正木

### 民生委員児童委員さんの一部が変わります

任期は平成19.12.1~22.11.30 ○新任

蝉東・蝉西	高瀬佐恵子	232-4474
上土居・下土居東(第2・3)・下土居青山	久保 宣男	232-4676
下土居西・東(第1)・鷺山新町	加藤 茂春	232-8095
鷺山2北・鷺山3・4	○六川 詔勝	294-5388
一番町・水門・北野町・草平町1・2	神山 政男	232-0241
正木中組・北組・明和町・正木北町	梅田 道子	231-2608
正木1・2・山手組・山本町	山内 正子	232-4007
正木中4・川島町・操舟町・光陽町	若山 恭子	231-7905
南正木東・西・西正木	○高橋美知子	232-0721
清洲町1~3	○青木小夜古	231-2666
清洲町4~7・鷺山本通1	富野 静子	232-3248
鷺山本通2・3・鷺山2南	橋本 富子	232-9188
向井町・向井東町・西向井町・城見ヶ丘	長谷三保子	231-9917
古川町・西古川町・白鷺町	木田 鉄子	231-8189
若水町北・南・西・玉川町	松前 廣重	231-2050
月見町・緑ヶ丘・緑ヶ丘新町4	村橋 洋子	231-9770
千草町北・緑ヶ丘新町1~3(会長)	梅田英太郎	231-8712
千草町南・若草町・正木コーポ	二村 時子	263-6349(勤)
主任児童委員	○尾藤ひとみ	232-0558
主任児童委員	○山田 里美	231-8932

### 民生委員児童委員って どんなことしてるの？

#### 安心して相談できる 地域のボランティアです

鷺山校区には民生委員児童委員が20人委嘱されています。

民生委員は生活困窮者、高齢者、母子家庭、その他障害または家庭環境等で援助が必要な人の相談にのり、助言などを行います。

また地域の住民や団体と

福祉活動を推進し、行政、福祉関係機関に協力していきます。

委員の中の2名は主任児童委員として、0歳~18歳までの児童を対象とした活動をしています。

児童委員の仕事には、子育ての相談窓口として、小



中学校と地域との橋渡し小・中学生の親、学校の先生方、地域の方の集い(三二集会)のお手伝い、年3回開かれる「親子ふれあい教室」のお手伝い、子育て支援ひろばのお手伝い、夏休みの校区内パトロールなどを行っています。

民生委員児童委員は「民生委員法」により、厚生労働大臣から委嘱を受けています。「守秘義務」があります。(SA)



# 鷺山校区昔むかし

②

## 古墳時代の中ごろ むらづくりが始まった

古墳時代の中ごろに、大和朝廷の政治力が美濃に及ぶと組織化が進み、最初は自然発生的なくつつかの集落が一つにまとまり「里」と呼ぶようになり、里がまとめられ、八世紀はじめ頃には「郡」と呼ぶ力の強い豪族が産まれ支配力を強めていったようです。

日本最古の戸籍といわれる「美濃国大宝二年戸籍(七〇二年)」には、「美濃国肩々郡肩々里戸籍」という古文書があり、国造川嶋と



水辺の祈り・イメージ

言う戸が記されていま

ばれ。戸主はこの身分の低い男女を支配して奴婢の労働力で富裕と権力を蓄えて大和朝廷に仕えていました。鷺山の北の山地に多く見られる古墳群のいくつかにもこのような支配者の墓のあった可能性があります。



古墳の副葬品(提瓶) 市場遺跡出土 メモ①

肩々郡は今の城田寺、長福光のあたりと思われる、五〇戸からなる里が郷と呼ばえられて、その一つには鷺山の北部地域が含まれていたと思われます。戸籍をみますと、この里に九六人からなる大きな「戸」があります。そのうち五九人は奴婢(ぬひ)と呼

## 東山道は鷺山を

通っていた

大和朝廷が地方を支配する重要な路線として、今の国道に匹敵する東山道とうざんみちが、鷺山の北を等高線に沿って長良方面に向かって造られていました。その名残が青山中学校南側の「仙道」、その南の「蟬」という地名です。

東山道は、はじめの頃は今の本巢市方面から長良高校の山麓の古墳群に沿って走っていったので、鷺山地域を通過していたようです。

道の要所には、安全を祈願する祭祀物が遺跡となつて残ることもあります。

下土居の正明寺城之前遺跡は、古墳時代の川の流路の一部に台付の甕の台を切り離し逆さに二、三個重ねたものが三、四個単位で出土しました。この道をはる



S字状口縁台付甕の脚台 正明寺城之前遺跡出土 メモ②

る東北・関東方面から来て太宰府に派遣され、西海の守衛にあたった兵士さむらいの防人たちが、武装を解き、故郷の家族を思い、旅の安全を祈ったことでしょう。祭祀遺跡は、峠や谷の道には良く見られますが、水辺の遺跡は洪水で流れてしまつので大変珍しいものです。

## 鷺山が歴史の中に 登場してくる

こうして古代の鷺山はすでに日本史のなかに登場してきているのです。(続く)

(水野 一)

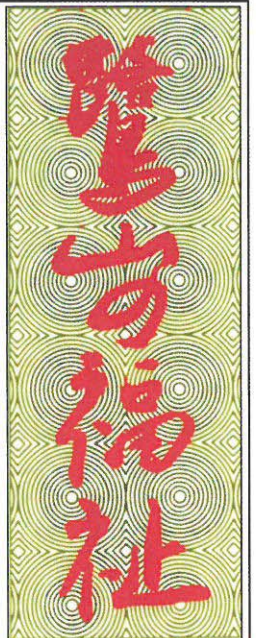
※参考としたのは、図書

「岐阜市史」「鷺山の歴史」史料提供  
埋蔵文化財調査事務所

メモ① 鷺山市場遺跡では古墳時代から戦国時代にかけての竪穴式住居跡、溝やゴミ捨て穴等が見つかりました。一つの穴からは古墳時代後期の須恵器の「提瓶」がほぼ完全な形で見つかりました。提瓶は酒などを入れた容器と思われる。

メモ② 下土居の正明寺城之前遺跡で、古墳時代の川の流路の一部が確認されました。その北岸付近では、古墳時代の煮炊きに使つ鍋(S字状口縁台付甕)の小形品などが見つかり、中に甕の台(脚台)の部分だけ切り離して逆さにして地面に置いたものがありました。川岸から特別な状態で見つっていることから、水辺におけるお祭りなどに関係したのと思われる。





第26号 発行  
社福協鷺山支部  
☎231-0040

## 声をかけあうまちづくり

### 出会い・ふれ合い・助け合い

ふれあいきいきサロン 五地区で開催

約三七六名参加

今年第1回「ふれあいきいきサロン」が、鷺山校区内5地区の公民館で10月20日～30日の間に自治会長、民生委員、日赤奉仕団、老人クラブの皆さんの協力を得て開催され、各地区工夫を凝らしたメニューで楽しいひとときを過ごしました。

市社協北部の野寺コーディネーターは、今回初めてでしたが、楽しいお話を手を使った運動で笑いを誘い、鈴木保健師の骨密度や握力測定をとりまげた健康予防方法に皆さんは真剣に耳を傾けていました。

鷺山地区(10月26日開催) 約77名参加

手品やビンゴゲームでふれあい、介護ケアマネによる舌や顔面体操と一緒に正しい健康度を更にアップしました。

清洲地区(10月28日開催) 約59名参加

皆で童謡を歌い、お茶タイムのあと4文字熟語で頭の体操、最後はビンゴゲームを楽しみました。

正木地区(10月30日開催) 約111名参加

元気健康カルタを12組で野村由老人クラブ会長の読み歌で開催。カルタの歴史から「読み書きに励んで脳の活性化」に皆熱心!!

古川地区(10月20日開催) 約73名参加

社協芥見南支部斎藤主事さんの「ハーモニカ演奏と楽しいトーク」で懐メロを皆で合唱、昔を想いながら、秋の香り炊き込みご飯と松茸のお吸い物を賞味。和やかな時間を楽しみました。

緑ヶ丘地区(10月21日開催) 約56名参加

音楽療法師の指導で童謡を歌ったり音楽に合わせて手を動かし楽しんだり、食改メンバーが作ったババロアケーキの試食等でふれあいを深めました。

## 「やるまいか!」

### 今から変える生活習慣

#### 介護予防教室開催

皆さんに一度は健康診断を受けていますか? 検診を受けた結果、要指導でも自覚症状がないからといって生活習慣を見直さないまま過ごしていませんか?



## サロンを

ふりかえって:

◎90才の方が元気理由は毎日タイを食べている(有難タイという気持ち)を常に持っている

◎いきいきサロン:一歩前へ出る大切さ  
生き生き、行き行き、息がぴったり合う、出会いを大切に

◎恋心(色気)を大切に  
人は恋をしていると若い

◎手は第2の脳  
指を動かそう (SK)

上の写真説明  
①ハーモニカと合唱(古川)  
②指運動で脳も活性化(鷺山)  
③健康カルタ遊び(正木)  
④健康セミナー(清洲)  
⑤手作りババロアのお味は? (緑ヶ丘)

9月8日(土)10時から鷺山公民館で「健康講座」が社協鷺山支部、鷺山公民館共催で60名が参加し開催されました。

北部ふれあい保健センターの鈴木仁子保健師から「生活習慣病メタボリック症候群の予防と実践法」について参考になるお話を聞

き、適正エネルギーの食事摂取量や1日1600カロリーの食事例、350gの野菜(緑黄色野菜とその他)の目安を学びました。糖尿病を始めとした生活習慣病は、体調変化のサインに気付き、毎日の食生活、運動習慣を見直すことで予防できます。(K)



男の料理教室

フランス料理に挑戦



恒例となりました「男の料理教室」平成19年度第2回(通算7回目)は9月26日(水)に岐阜市北市民健康センターで定員どおり20名で開催しました。

今回は健康志向であったこれまでのテーマと違い夏バテの回復と、少しは贅沢をと思い、「料理をおいしく楽しもう」をコンセプトに



ポター

ジュ・コールドサラダ・飛騨牛ヒレ肉のステーキなどデザートも合わせて豪華なメニュー6品を作りました。いつもと違う料理とあって、調理中もみんな目を輝かせイキイキ。器も本格的なお皿等を使

用、テーブルセットして見た目にもプロ顔負けにできあがりしました。



プロ顔負けのすばらしいできばえに満足、満足！(北市民健康センターで)

「おいしい」「ちょっとリッチだね」とセンターの片桐所長、森崎栄養士もお招きし楽しく試食しました。

スタッフも「今回はいつもに増して楽しく、おいしかった」と大満足。

次回以降も趣向を凝らして行いますので、是非ご参加ください(河合 輝久)



はじめまして

鷺山の新しいお友だち

地域で子育て



平成18年度に生まれた鷺山校区在住の親子さんを対象に、今年も親子ふれあい教室を3回実施しました。8月29日には「赤ちゃんの手話」や保健師さんからのお話、児童委員のみなさんによる手遊びなどで楽しいひとときを過ごしました。赤ちゃんや若いお母様方

の愛らしい笑顔と、元気な姿に私たちも心が和み温かい気持ちになりました。会にはたくさんさんのボランティアのみなさんが、人生の大先輩から中学生まで多世代にわたって集いました。まさしく子どもは地域の宝！この出会いを大切に

て、新しい鷺山の仲間を地域全体で受け止め、共に育て合い、より豊かな人生を送りましょう。

青少年育成市民会議  
家庭部会長 服部久恵

「親子ふれあい教室」

- 8/29 はじめまして友の輪
- 10/4 親子で！トミック (田中美智子先生)
- 10/27 赤ちゃんのための救急講座



和気あいあいとした雰囲気の中で(鷺山公民館で)

赤い羽根

法人共同募金

57事業所で  
31万3千円強の募金

第61回共同募金運動は「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに鷺山校区では過去5年間で最高のご支援をいただきました。共同募金会では「安心、安全なまちづくり支援」を重点テーマに地域で多様な課題に取り組むさまざまな福祉活動に有効活用させていただきます。

鷺山地区	11件	58,000円
正木地区	23件	116,000円
清洲地区	5件	22,000円
古川地区	8件	80,580円
緑ヶ丘地区	10件	37,000円
合計	57件	313,580円

ご協力誠にありがとうございました。

社会福祉協議会鷺山支部





**古川の川原に最初に市が建てた住宅街**  
 戦後、戦災で家屋を失った人、終戦で引揚げてきた人たちの住宅を確保するため、昭和22年から清流と小さな松がまばらの雑草の生



い茂る草地、本通りは鵜飼屋から続く堤防、その南の廃川敷地の平地を選んで岐阜市が最初に建築し、職業も土地の言葉も種々様々な人たちが移り住んできて生まれた町でした。それより西の住宅地に比べ道幅もま

現在の町名は、昭和24年秋、町名がないと不便だからと広報会で話し合い、古川の河川敷だから古川町、その西は西古川町、白鷺がよく飛来してくるからと白鷺町と決め今日に至っています。

この三つの町は、当初屋根はトントンと打ち付けた板葺き、井戸は共有、四畳と六畳に風呂なしの住居でしたが、当時厳しい抽選を引き当てて入居した住人には、家族が一緒に住める御殿のような住宅で、石ころを除き土をもらって道普請をし、何事も協力してまちづくりを進めてきた地域です。

因みに、現在古川町は84

世帯、西古川町は33世帯、白鷺町は57世帯。

古川町は10年ごとに、荒



ちづのまち町がたげちら原る涼た

くりの努力を祈念して式典・祝賀会を行なっています。本年は60周年目にあたり去る10月28日(日)盛大に挙行されました。(M)

**自治公民館案内**

古川町公民館は平成5年の竣工です。集会和睦を行う場所として市の補助に町民の寄付を合せて建設されました。(シ)

**古川町公民館**



**鷺山字名(あさなめぐり)**

**大橋**

鷺山小学校の付近に「大橋」という字名があります。この付近は長良川の支流が流れていたため、橋が架けられていて地名に転じたと考えられます。しかし、江戸時代は、幕府の政策上ほ



旧地図に字名

とんどの大きな川には橋がなく渡船などで渡河していました。

一説によると、将棋の名人の大橋宋桂と関わりがあるといわれます。『国史大辞典』には、「京都の人で旧名を『宋慶』といい、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・秀忠に歴任し、信長から『宋桂』の名を賜わった」とあります。将棋の駒・桂馬から取ったものです。

信長の岐阜城時代、たびたび将棋を披露し、その腕前が抜群であったのでしよ

う。その宋桂が住んでいた場所が地名に転化したかも知れません。

宋桂の晩年は江戸に住み、江戸幕府の将棋役専任となつて、五十石五人扶持を与えられ、将棋の初代名人になりました。

(加納 宏幸)



秋は催事が多く、あれこれ取材も記事の収集も大変です。しかしながら毎年似たようなことで、新鮮味を出すのが、催事の中身も、記事も工夫が要ります。本誌も恒例行事の記事の羅列から、これからの鷺山校区のまちづくり、そしてあまり知られていない地域の歴史を掘り起こし、残していきたいと思えます。戦後も60年を過ぎ、戦後の鷺山の歴史も、古墳時代、戦国時代の歴史同様に取上げていきたい。①

